

富岡実業 高等学校 学校評価一覽表② (令和2年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科コースの専門教育に生徒の85%以上が満足している。	A	A	A	座学や、実験・実習等の授業改善に取り組み、生徒91%の評価を得た。 参加率が増し、評価についても85%を得た。 学習指導や各種行事の充実・工夫に取り組み、85%の評価を得たが、行事の満足度は73%とやや低い。	富実で良かったと回答している生徒が85%、保護者が96%の高い数値はとても素晴らしいと思います。専門的な学習に生徒が意欲的に取り組んでいる様子が数値から分かります。先生方が生徒の関心意欲を高めながら実社会につながるような教育を実践しているからだろうと推測いたします。	産業社会の変化を見据え、1年次の学科選択に係るガイダンス及び各学科の専門教育を継続的に充実させる。 自ら興味をもち参加できるよう、各種活動の工夫・精選をさらに行う。 学習指導とともに、行事等について、生徒が達成感をもてるような工夫・魅力化を図る。
		②地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する生徒が80%以上である。	A	A	A			
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	B	B	B			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④「授業がわかりやすい」と、生徒の70%以上が答えている。	B	B	B	授業がわかりやすいと回答した生徒は79%であったが、昨年度より11%増加した。 生徒の80%が資格取得指導に満足している。これは昨年度より9%減少した。	授業が分かりやすいと回答している生徒が多数いることは大変素晴らしいと感じます。コロナ禍で不自由な教育活動が多い中、工夫した授業が行われていたことと思います。日々授業改善に取り組んでいた先生方に敬意を表します。資格取得に向けた学習が充実していることと、生徒のニーズに合った学習が進められている関係が良好であると判断できます。今後も「主体的・対話的で深い学び」授業実践の充実を期待しています。産業用ドローン体験授業を実施できるよう地元団体との連携、協力をお願いしたい。	授業評価アンケートにより生徒の実態に合わせた授業改善にさらに取り組む。また、各学期毎に成績不振者指導を充実させる。 受験者が合格できるように指導を今後も継続し、合格率をより高める。
		⑤資格取得に向けた指導に、生徒の85%以上が満足している。	C	C	C			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。	A	A	A	授業に意欲的に取り組んでいると自己評価している生徒は89%で、昨年度より3%増加した。ただし、職員の評価は72%と開きがある。 目標をもって勉強し学力を身に付けていると回答した生徒が、昨年度より6%増加し76%に達した。しかし、朝学習や補習等に積極的に取り組んでいる生徒は67%にとどまっている。	授業規律の確立を土台に、対話的な学びやICTの活用などの工夫を行い、より広く深く興味をもたせる。 「朝学習の時間」の教材や指導方法を改善し、生徒が目標に向けた学習習慣を身に付けることや、苦手科目等の解消に向けた指導がさらに必要である。	
		⑦自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が、70%以上である。	C	C	C			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧学校は安全であり、安心して学校生活を送っていると感じている生徒が90%以上である。	C	C	C	相談しやすい雰囲気醸成されつつあるが、学校は安全であると評価している生徒は昨年度より11%増加し84%と目標に近づいた。 長期欠席等により、欠席率は1.5%、遅刻率は0.7%という結果になった。	心や体の健康については充実した学習に欠かせないこととあり、規則正しい生活を心掛けることが望まれます。家庭との連携が欠かせないところだと思います。聞かない生徒もいるでしょうから連携の方法を考える必要があると思います。いじめに関する調査の8%増とても素晴らしいことです。日頃から掲げている目標や生徒の主体的な活動が適切であったと思います。できれば100%を目指してほしいところです。今後もいじめは絶対に許さない方針で進んでいくことが大切だと思います。	個人面談や調査等をきめ細かに行き迅速に対応する体制をより整える。 卒業後の進路を見据え、出席することの大切さを伝えるとともに、長期欠者等には、家庭や関係機関と連携を密にして粘り強く対応していく。十分な睡眠を取っていない生徒が少なくないことを踏まえ、健康な生活に関する啓発や指導をより充実させる必要がある。
		⑨欠席率が1.2%以下、遅刻率が0.4%以下である。	C	D	D			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩毎日朝食を摂るなど、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。	B	B	B	毎日朝食を摂ると答えた生徒は昨年度より3%増加し85%であった。一方、きちんと睡眠をとっている生徒は昨年度より2%増加したが、79%にとどまった。	生徒会が中心となり、生徒一人ひとりのいじめ防止活動への意識を高め、学校全体で実践する。	
		⑪いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止に向け積極的に取り組む生徒が85%以上である。	B	B	B			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	A	A	A	1年次から進路関係行事の充実を図り、生徒評価は89%を得た。 自己の生き方と将来の職業の関連について考えている生徒が77%である。	卒業後の進路指導が生徒に寄り添った取り組みであることが数値から理解できません。学校の指導方針と生徒の適切な進路選択が合致しているのだと感じます。生徒が夢を抱いて入学してきていることから卒業後は立派な社会人、職業人になってもらえることを願っています。地域の産業人を育む拠点校として期待しています。	全職員が効果的なキャリア教育の視点で指導できるよう職員研修を充実させたい。 キャリア教育の視点から進路行事の充実を図るとともに、適性検査等の結果の活用方法を改善し、進路指導の充実を図る。
		⑬自己の生き方と将来の職業の関連について考えているいる生徒が75%以上である。	B	B	B			
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭自分の適性について理解し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	B	B	B	低学年から進路に対する興味を喚起し、3年生における希望の実現に取り組んだ結果、積極的に取り組む生徒が昨年度より2%増加し81%になった。	低学年からスケジュール管理に取り組み、自分の適性を理解させ、卒業後の生活を意識した取り組みを一層進める。	
⑮PTA活動や学校行事等に1回以上参加している保護者が、80%以上である。		D	D	D				
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯授業公開、学校からのメールや、配付物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の70%以上が学校の様子を理解できている。	B	B	B	コロナ禍のため殆どのPTA活動や学校行事等が中止となり、行事に1回以上参加していると回答した保護者は43%であった。 子供の学校での生活をだいたい把握していると回答した保護者は69%になり目標を達成したが、富実の記事やHPを見たことがあると回答した保護者は73%にとどまった。	コロナ禍で外部の方を学校内に入れることができないことから仕方ない結果であったと思います。その分Webページで学校理解に努めていただいたこともよく分かります。富実独特の地域との交流がなかなかできなかった1年であったと思います。次年度に期待します。	連絡を確実に保護者に届けるとともに、行事そのものの一層の魅力化を図る。 今後も学校HP、連絡メール、マスメディア等を積極的に活用し、継続的に情報発信を進める。